

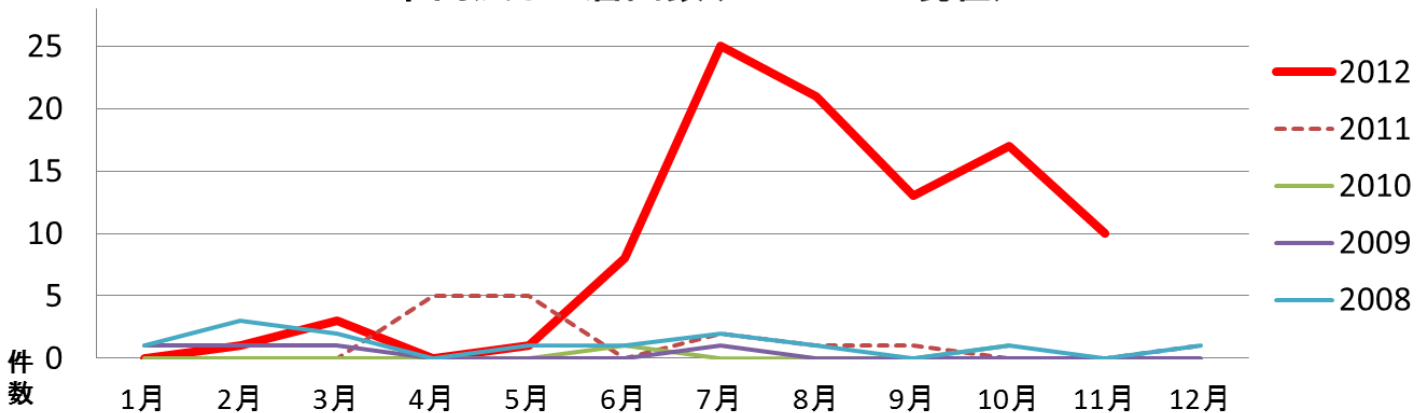
《今月のトピックス》

- 感染性胃腸炎が流行しています。
- 風しんの流行が継続しています。
- マイコプラズマ肺炎の報告数が多い状況が続いています。

全数把握の対象

- 1 **細菌性赤痢**: 1 件の *Shigella sonnei* の報告がありました。国内での感染が推定されていますが、感染経路等不明です。
- 2 **A 型肝炎**: 1 件の報告がありました。国内での経口感染が推定されています。
- 3 **レジオネラ症**: 2 件の肺炎型の報告がありました。どちらも感染の原因は現在調査中です。
- 4 **アメーバ赤痢**: 腸管アメーバ症 3 件の報告がありました。すべて国内での感染が推定されています。1 件は同性間性的接触による感染、もう 1 件は性的接触による感染(同性間か異性間か不明)が推定されています。残るもう 1 件は感染経路等不明でした。
- 5 **後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**: 4 件(AIDS 2 件、無症状病原体保有者 1 件、その他 1 件)の報告がありました。AIDS の 1 件は HIV 消耗性症候群(スリム病)での発症で、国内での異性間性的接触による感染が推定されています。もう 1 件はニューモシスチス肺炎での発症で、国内での感染が推定されていますが感染経路不明です。無症状病原体保有者の 1 件は、国内での同性間性的接触による感染が推定されています。その他の 1 件は抗 HIV 抗体陽性で、頸部リンパ節腫脹や咳などの症状を認めています。これらの症状が AIDS によるものかどうか等の診断がまだされていない事例です。国内での同性間・異性間性的接触による感染が推定されています。
- 6 **風しん**: 10 件(男性 9 件、女性 1 件)の報告がありました。全国的な流行は第 30 週をピークに減少傾向となっていますが、東京都を中心とした関東地方や、大阪府などの関西地方などでは現在も流行が継続しています。横浜市でも 11 月に入っても依然報告が続いており、引き続き注意が必要です。先天性風しん症候群予防のため、風しん予防接種の記録がない、あるいは、風しん HI 抗体が陰性または低抗体価の女性は予防接種を受けることが強く勧められています^{*}。さらに、今回の流行の中心は、予防接種歴が無い、あるいは不明の 20~40 歳代男性であるため、流行の抑制には男性の予防接種も重要です。

市内風しん届出数(2012.11.26現在)



※風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言

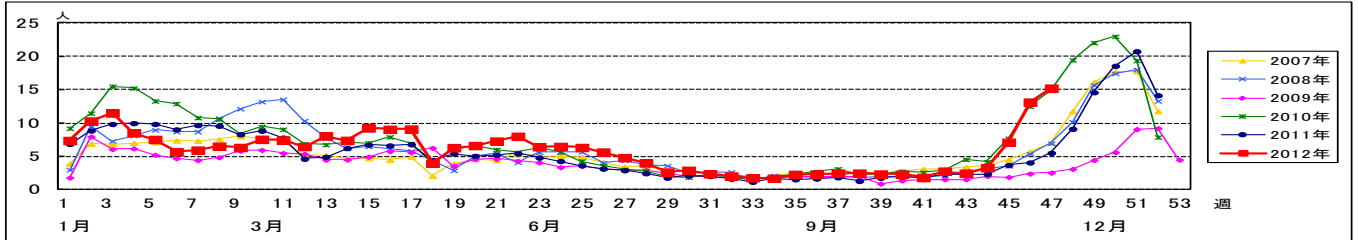
<http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/rec200408rev3.pdf>

◆横浜市感染症臨時情報:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/rinji/>

定点把握の対象

- 1 **感染性胃腸炎**:今年は41週頃から全国的に増加し、第47週では定点あたり13.02となっています。横浜市でも第47週15.23と急速に増加しており、区別では神奈川区30.60、都筑区28.00、磯子区22.25、栄区22.00、港北区21.63と、5区で警報レベル(定点あたり20.00以上)を上回っています。例年年末にかけてさらに流行するため、引き続き注意が必要です。予防には手洗い、便や吐物の適切な処理と消毒、食品の十分な加熱が重要です。ノロウイルスの消毒には次亜塩素酸による消毒が有効です。

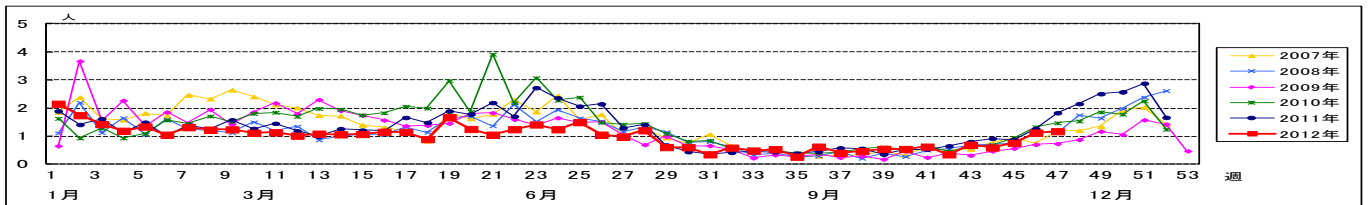
平成24年 週一月日対照表	
第43週	10月22～28日
第44週	10月29～11月4日
第45週	11月5～11日
第46週	11月12～18日
第47週	11月19～25日



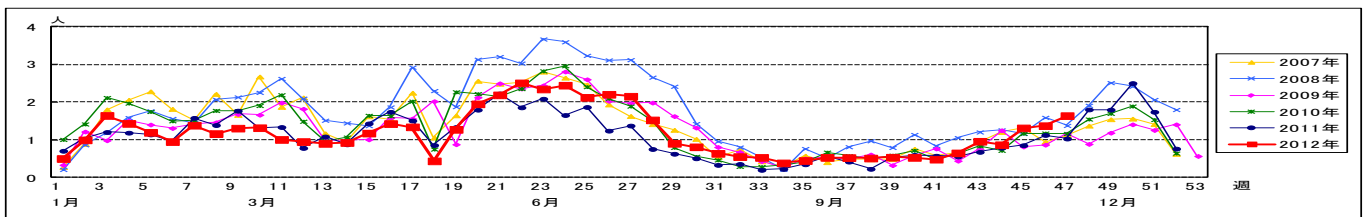
◆横浜市衛生研究所:次亜塩素酸の詳しい使用方法 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/punf/pdf/noro-yobou.pdf>

◆横浜市衛生研究所:横浜市感染症臨時情報 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/rinji/>

- 2 **水痘**:第47週は市全体で定点あたり1.18と、大きな流行は見られませんが、45週0.76、46週1.13と報告が増加傾向にあり、区別では神奈川区4.40、都筑区4.33と2区で注意報レベル(定点あたり4.00以上)を上回っており、注意が必要です。



- 3 **インフルエンザ**:第47週は市全体で定点あたり0.08と大きな流行は見られませんが、今後の流行期に向け注意が必要です。
- 4 **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第47週は市全体で定点あたり1.64と警報レベル(定点あたり8.00以上)を大きく下回っていますが、増加傾向です。



- 5 **性感染症**:10月は、性器クラミジア感染症は男性が13件、女性が13件でした。性器ヘルペス感染症は男性が6件、女性が6件です。尖圭コンジローマは男性3件、女性が1件でした。淋菌感染症は男性が11件、女性が1件でした。
- 6 **基幹定点週報**:現在マイコプラズマ肺炎は全国的に流行しており、第44週1.31、第45週1.26、第46週1.32、第47週1.06と報告数の多い状況が続いています。横浜市でも第44週5.33、第45週3.00、第46週2.67、第47週0.67と、報告が多い状態が継続しています。細菌性髄膜炎が第46週に1件(80歳代、病原体は未検出)、第47週に1件(40歳代、肺炎球菌)報告されました。また、無菌性髄膜炎が第43週に1件(幼児、病原体は未検出)ありました。クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 7 **基幹定点月報**:10月は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症9件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症2件が報告されました。薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>